

目標の柱	4	次世代の地域を担う人材の育成
基本目標(政策)	4-2	文化財の保護と活用を図ります
基本計画(施策)	4-2-1	・貴重な自然遺産と文化の保存・伝承

	課	係
主管課・係	生涯学習課	文化財係
	教育委員会分室	生涯学習係
関係課・係	奥会津博物館	事業係

【施策の目的と取組・現状分析】

<p>1 施策の目的(対象・意図)は何ですか？ ※対象(誰が、何が)、意図(どのようになることを目指すのか)を対象ごとに記載してください。</p>	<p>①無形民俗文化財の継承団体が将来にわたって地域の民俗芸能を保存、伝承していく。 ②町民が自然遺産や町の文化財、伝統芸能に対する知識と興味関心を持つ。 ③町の文化財が適切に保存伝承されている。</p>				
<p>2 「目指すべき状態」になるための成果目標は何ですか？</p>	<p>▼「目指すべき状態」を実現するために目標とする成果は何ですか？箇条書きで記載してください。</p> <p>①無形民俗文化財の継承団体の維持。 ②奥会津博物館の入館者数の増加。 ③文化財の調査研究と町文化財としての適切な指定と保存。</p>				
<p>3 成果指標の状況(☆は追加した指標、※は変更した指標)</p>	単位	平成30年度 実績値	令和元年度 目標値	令和2年度 実績値	令和2年度 目標値
A	無形民俗文化財の継承団体数	団体	13	13	13
B	奥会津博物館入館者数	人	6,862	9,000	※3,000
C					
D					
<p>4 成果指標の実績値は目標値に対してどうでしたか？</p>	評価	▼その理由として考えられること	見込み	▼その根拠と目標値設定(変更)の考え方	
A	③ ほぼ目標値どおり	各団体において担い手不足が顕在化してきているが、現状を維持できている。	① 既に目標クリア	継承団体の維持が困難な団体もあるが、関係者の努力により維持できているため。	
B	④ 下回った	団体客の減少とPRの不足が考えられる。	④ 達成は困難	新型コロナウイルス感染拡大の影響で行動が制限されるなどし、休館期間等もあったため目標値を変更した。	
C					
D					
<p>6 「目指すべき状態」に対し、これまでどのような取組を行いましたか？</p>	<p>▼「目指すべき状態」の実現に向けて、取り組んだことは何ですか？箇条書きで記載してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伝統芸能活性化委員会で民俗芸能を継承している団体相互の情報交換、団体紹介パンフレット作成・配布を行った。 ・奥会津博物館での調査・研究をもとに、企画展や郷土の歴史講座を実施し、研究の成果を広く周知した。 ・埋もれている貴重な文化財を調査し、町の文化財として指定した。 ・駒止湿原の監視活動を実施するとともに、食害対策として防鹿柵の設置を行った。 				
<p>7 施策の「対象」の現状はどのように変化しましたか？</p>	<p>▼ 現状把握に努めましたか。把握した現状とその変化、町民や議会の声などを記入してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民俗芸能継承団体は維持されているが、後継者不足が深刻な状況となっている。 ・奥会津博物館については、団体客の受け入れが少なかったこと等により全体的な入館者は減少したが、藍染体験者数は増加しており、企画展や歴史講座の利用者数は例年並みとなっている。 ・文化財保存に対する取組みでは、新たに3件を町指定文化財に指定した。 ・天然記念物駒止湿原保存管理計画(ニホンジカ対策編)に基づく実施計画により、防鹿柵の設置を行った。 				

【施策の振り返り】

<p>8 2の成果目標の視点から、成果が上がったことは何ですか？</p>	<p>▼ 成果があったと思われる点を、2の目標とする成果の視点から原因を踏まえて記入してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民俗芸能継承団体相互の情報交換の場の提供、パンフレット作成による町内外への情報発信、保存整備事業補助金制度等により、保存継承への取組を支援し、意識の高揚を図った。 ・全体的な入館者数の増加はなかったが、藍染講座や町民向けの歴史講座を実施し、保存研究活動の効果があつた。また、南会津地域の村々に残る習俗を紹介する企画展を開催し、好評を得た。 ・地域に埋もれている文化財について調査を行い、新たに3件を町指定文化財に指定する事ができた。 ・駒止湿原のニホンジカ対策として実施計画に基づき、防鹿柵を設置したことで湿原植物への食害が減少した。
<p>9 2の成果目標の視点から、問題点は何か？</p>	<p>▼ 問題があると思われる点を、2の目標とする成果の視点から原因を踏まえて記入してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民俗芸能については、後継者不足が深刻な課題となっており、継承団体に対する活動支援だけでは限界があるため、民俗芸能の記録保存を検討する必要がある。 ・希少な藍染技術の保存継承等の活動を町内外に広くPRし、奥会津博物館の利用者を増加させるとともに、南会津町に残る歴史文化の情報を継続的に発信していく必要がある。 ・駒止湿原のニホンジカ対策が着実に進んでいる一方で、イノシシ被害が拡大しており、現状に合わせた実効的な対策が必要となっている。

【結論として・・・(施策の振り返りも踏まえて)】

<p>10 2の成果目標の視点から施策全体の今後の方向性は？</p>	<p>・今後も文化財の保存と活用に取り組めます。奥会津博物館利用者数増加のために、魅力のある企画展の開催と、移築古民家の保存と公開、資料の展示と体験事業をバランス良く行っていきます。駒止湿原に関しては、防鹿柵設置後の検証をしっかりと行い、効果的な実行可能な方策を検討していきます。</p>	
<p>11 上記を踏まえ、施策の目的を実現させるためには、どのような「解決すべき問題への方策」・「達成できた事項をさらに伸ばす方策」がありますか？また具体的な対応・対策をどうしますか？</p>	<p>▼ 施策を実現するための「解決すべき問題への方策」と「達成できた事項をさらに伸ばす方策」を記入し、それらに対する今後の対応を具体的に記入してください。</p>	<p>具体的な対応・対策</p>
	伝統芸能継承団体への支援	運営経費に対する助成、衣装等用具に対する助成、担い手不足対策、記録保存の検討
	貴重な文化財の保護・保存に対する支援	文化財の指定と保護・保存に対する支援制度の充実、指定文化財の状況確認
	奥会津博物館において定期的な企画展の開催	奥会津地域の歴史、民俗資料の調査を継続して行い、魅力ある企画展を行う。
	奥会津博物館の展示・体験学習内容の検討	魅力のある展示・体験内容を検討する。
	駒止湿原の保全	ニホンジカ対策として防鹿柵の維持検証、監視活動、木道の修繕

12 施策を構成する事務事業

番号	事務事業名 (令和2年度新規事業 に★)	所管課 担当係	事業の目的、概要、成果、問題、問題に対する対策を簡潔に記載してください。(2行以内)					
			事業費(千円)					
			元年度決算額	うち一般財源	2年度予算額	うち一般財源	-	-
01	奥会津文化財等 研究員設置事業	奥会津博物 館	目的	地域に存する文化財等の調査、研究事業を推進するため。				
			概要	奥会津博物館に2名の研究員を配置し南会津地域の調査研究を実施した。				
			成果	歴史・民俗資料の調査研究成果を分かりやすく発信するため、企画展を開催した。				
		事業係	問題	広大な奥会津地域に散在する膨大かつ多様な資料調査を行う必要がある。				
			対策	事業の継続のため、人材の育成と適正な配置が必要不可欠となる。				
			事業費	7,351	7,351	8,304	8,304	-
02	奥会津博物館所 蔵資料保存活用 事業	奥会津博物 館	目的	調査研究の成果や所蔵資料を活用し、歴史講座や企画展を実施することで、地域の歴史と文化、伝統に対する理解を深めるため。				
			概要	所蔵資料の活用を図るための整理・保存業務と初心者向けの歴史講座を実施した。				
			成果	所蔵資料を活用し、広く町民に郷土の歴史・文化に興味を持っていただくきっかけを作ることができた。				
		事業係	問題	担当できる人員に限りがあるため、事業展開の拡がりに限界がある。				
			対策	各種体験事業と組み合わせたプログラムを充実させ、利用者の増加につなげる。				
			事業費	563	563	576	576	-
03	伝統技法(藍染) の継承事業	奥会津博物 館	目的	当地域に伝わる伝統的な藍染技法の保存継承を図るため。				
			概要	藍染講座を年13回開催し、技法の継承を図った。				
			成果	受講者には、より高い技術に取り組んでもらい、技術の向上を図ることができた。				
		事業係	問題	技術指導者の減少により、講座の継続が難しくなることが予想される。				
			対策	経験年数の多い受講者を対象に、技術後継者の育成を重点的に行う。				
			事業費	955	955	1,212	1,212	-
04	旧南会津郡役所 管理運営事業	奥会津博物 館	目的	福島県指定重要文化財である旧南会津郡役所を広く一般に公開し保存管理するため。				
			概要	「西町区」を指定管理者として、管理運営を委託した。				
			成果	概ね計画通りの管理ができています。				
		事業係	問題	建物の老朽化のため、毎年補修の必要な箇所が出てきている。				
			対策	施設の修繕を計画的に実施する。				
			事業費	2,876	2,876	2,774	2,774	-
05	指定文化財保存 活用事業	生涯学習課	目的	貴重な文化財を適切に保存管理し後世に継承するため。				
			概要	令和元年度は、大桃の舞台及び旧猪股家住宅の茅葺屋根修繕事業を行った。				
			成果	国指定又は県指定となっている貴重な文化財の保護と活用が図られた。				
		文化財係	問題	茅材の確保や茅葺き職人の担い手減少、修繕のための財源確保が課題となっている。				
			対策	地元の茅材活用に向けた調査や関係団体との調整、地元企業と連携した茅葺き職人の育成。				
			事業費	16,507	11,119	5,040	2,120	-
06	駒止湿原保存事 業	生涯学習課	目的	国指定天然記念物駒止湿原の現在の自然環境を将来にわたって適切に保存・管理するとともに、環境学習や観光資源として活用するため。				
			概要	入山者による盗掘や踏込の防止と生態系保全のため監視活動を実施し、さらにニホンジカによる食害対策にむけて防鹿柵設置実施計画を基に防鹿柵の設置を行った。				
			成果	定期的に継続して行った監視活動や看板による周知により、入山者のマナー向上が図られた。更に防鹿柵設置によりニホンジカによる食害が減少した。				
		文化財係	問題	防鹿柵の効果は見られたが、イノシシによるミズバショウの食害が増加している。さらに木道の修繕も課題となっている。				
			対策	防鹿柵について一定の効果はみられるが、管理面を含めた検証から、継続可能且つ有効な防鹿柵とするため改善を図る。また、イノシシ対策についても有識者から意見をいただき対応を検討する。計画的な木道修繕を行う。				
			事業費	5,312	2,312	3,383	1,383	-
07	地域伝統文化総 合活性化事業	生涯学習課	目的	伝統芸能の保存伝承を図り後世に継承するため。				
			概要	南会津町伝統芸能活性化実行委員会を開催し、町内伝統芸能団体の情報共有を図った。				
			成果	町内芸能団体の情報交換の場を持ったほか、町内外に周知するため保存団体紹介パンフレットの作成を行った。また、保存整備事業補助金制度を創設し用具更新の支援を図った。				
		文化財係	問題	指導者・継承者の高齢化、継承者の減少が課題となっている。				
			対策	組織運営に係る支援等を継続しつつ、記録保存の実施に向けて検討を行う。				
			事業費	940	940	520	520	-
08	前沢曲家集落保 存対策事業	生涯学習課	目的	国選定重要伝統的建造物群保存地区である前沢曲家集落の保存対策を行い後世に継承するため。				
			概要	保存計画に基づき修繕等に対する補助を実施するとともに防災対策計画を策定した。				
			成果	所有者による茅葺屋根の維持が継続的に行われており、適切に保存対策が行われた。				
		文化財係	問題	今後、空き家の増加が見込まれており、空き家発生の際の適切なスキームづくりが課題となっている。				
			対策	空き家となった特定物件の保存・活用を目的とした組織の確保に向け検討を行う。				
			事業費	28,027	12,673	24,393	5,490	-

09	田島祇園祭屋台 歌舞伎保存事業	生涯学習課	目的	本町の代表的な伝統芸能である田島祇園祭屋台歌舞伎の保存伝承するため。					
			概要	田島祇園祭屋台歌舞伎保存会による公演の実施と保存伝承活動に対する補助を行った。					
			成果	田島祇園祭での屋台上演をはじめ、田島小学校3年生の「総合の学習」で歌舞伎の授業を行った。その成果発表として、歌舞伎保存会と小学校の合同で12月に公演を開催した。					
		芸術文化係	問題	少子化により子供の役者の確保が課題となっている。					
			対策	田島小学校のみではなく、他の小学校でも歌舞伎ワークショップを実施し、楽しさを体験してもらい、子供歌舞伎役者の増加を図る。					
事業費			17,457	17,457	9,520	9,520	-	-	
10									
事業費(一般財源)の合計(千円)			79,988	56,246	55,722	31,899	-	-	